

会議開催概要

会議名	第 15 回 菊川市総合計画庁内策定委員会
日 時	平成 28 年 2 月 19 日（金） 9:30～11:30
場 所	菊川市役所 2 階 庁議室
出席者	副委員長、他委員 8 名 事務局 3 名
議 事	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 第 2 次菊川市総合計画基本構想（案）について【資料 1】 (2) 第 2 次菊川市総合計画 政策・施策指標について【資料 2】 4 その他（連絡事項等） 5 閉会
議事要旨	
<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会宣言 ・互礼 ・出席者数確認 ・資料確認 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第 2 次菊川市総合計画基本構想（案）について (2) 第 2 次菊川市総合計画 政策・施策指標について <p>2 副委員長あいさつ</p> <p>・おはようございます。委員長に代わって委員会を進めます。本日は、前回の庁内策定委員会を踏まえ、総合計画審議会や全員協議会からの意見を踏まえて、基本構想案、政策・施策指標を検討する会議です。委員の皆様から建設的な意見をいただき、より良い総合計画になるようご協力をお願いします。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第 2 次菊川市総合計画基本構想（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料説明 <p>(質疑)</p> <p>委 員 : 最初の 5 ページは議会に出したのですか。5 ページに一般河川、病院、消防、ごみ処理とありますが、菊川の名前の謂れが、読み取りにくい文章になっています。もうちょっと、文章をまとめてもらった方がいいと思います。6 ページの上から 6 行目、合計特殊出生率は、15 歳から 49 歳の女性が減少して出生数が減少と書いてありますが、具体的な年齢より、出産が見込まれる年代とした方がいいのではないですか。その次の (2) の 8 行目、原子力の関係で安全性に対する信頼が揺らいでいますとの表現は、総合計画で言い切ってしまうのは心配。8 ページ (6) で、災害の所に文字が追加されて、各地でさまざまな自然災害が発生したとありますが、広島の土砂災害の次に、御嶽山の噴火</p>	

も入れた方が様々な災害という表記につながると思います。あと、文字の修正等は事務局に直接お渡しします。

事務局 : 事務局で校正させていただきます。

委員 : 82 ページの消防の部分で、政策指標が客観的指標という形で出されていますが、普通救命講習会の受講者数について、事業の内容を確認しますと、78 ページの 4 の 1 の防災力を高めるまちづくりに該当する施策なので、修正をお願いします。消防力を高めるまちづくりの指標を変えたいと思います。消防団員数に対する比率で、現状値が 319 人、87%です。目標は平成 37 年度までに 364 人、95%にしたいと思います。条例定数 100%にするのが一番ですが、入団対象年齢の人が減ることを考えるとハードルが高いので、その辺の目標にさせていただきたいと思います。あわせて各課から出てきた資料 2 で、24 ページで、消防区を高めるまちづくりの指標 2 つ目の普通救命講習会の受講者数が、22 ページの応急手当協力事業所認定数の所の施策になるので、24 ページは削除して、消防団の定員に対する比率に変更をお願いします。

事務局 : 昨日、ご連絡をいただいておりますので修正します。

委員 : 1 点だけです。68 ページ、現状課題の 2 行目、T P P の大筋合意となっていますが、総合計画が出る 28 年頃には、発効など、言葉を変えた方がいいと思います。

委員 : 42 ページ、一番下の指標、子育て支援センターの利用者数ですが、62,500 人から 72,000 人というのはかなり大きな目標なので精査の指示を出しました。このところ 60,000 人程度で推移しており、稼働率を 40%として、67,700 人に目標を修正させていただきたいと思います。その他誤字脱字は別途お話いたします。

委員 : 90 ページの現状課題の下から 2 つ目の文章、旧小笠町との表現がありますが、別の言い回しの方がいいと思います。92 ページの現状課題の 2 つ目の文章ですが、現状は、30 代は転入が増えていますので、言い回しは変えた方がいいのではと思います。

事務局 : 30 代の転出入は確認して修正します。

副委員長 : 認定子ども園と小中一貫校について何も書いていないので、一貫校をやっていくには、耐震改修で進んでいくのが本音ですが、中 1 ギャップで不登校が増えています。それをなくすために、小中一貫となっているので、総合計画期間の中で、どこかで出てくる事だと思いますが、42 ページのどこかに、中 1 ギャップをなくすために小中一貫校を検討していくとの言葉を入れて欲しいが、どこに入れたらいいのかわかりません。施設の改修費用がないから一貫校にすると捉えられたくないなので、子供のために、中 1 ギャップを解消するためにやっていく、ということ を 42 ページ又は 46 ページくらいでしょうか。

よろしく申し上げます。

事務局：担当課と相談する必要があります。

副委員長：部長には言っておりますので、話して欲しいと思います。

委員：4章以前の課題の所で触れる必要はないのですか。

副委員長：そうしていただければ嬉しいです。できれば触れて欲しいと思います。

事務局：時点修正の問題ですが、9月に上程する予定で、その時点で固めた文章としたいと思っています。先が読めない部分もありますが、今より先の夏の頃をイメージされた文章として見てください。

(2) 第2次菊川市総合計画 政策・施策指標について

・事務局より資料説明

(質疑)

委員：指標の数値を見た時に、数値を丸めている所もあるし、小数点以下がある所もあります。ある程度統一して、細かすぎる所は揃えた方がいいかなと思います。10年後の目標について、設定があまりにも低いものがあります。また、すでに達成しているものもあります。例えば、85ページ、環境の水質の基準は、現状値はすでに基準値よりかなり低く、平成37年の目標は基準値以内という表現は、現状維持より少し悪くてもいいみたいな目標ととられかねないので、見直した方がいいのではと思いました。

事務局：指標については確認して統一するよう見直します。

事務局：生活環境部長は、指標についてどうですか。

副委員長：例えば28ページのバスの路線数が現状維持となっておりますが、これは本当に妥当な目標なのですか。一般に公開されるものなので、10年後も現状維持でいいのかという事。

事務局：担当課としては、これから廃線の可能性もある中、維持したいという考え方があります。目標を増やすかどうかは、この場では決められないので、担当課と相談したいと思います。

副委員長：増やして欲しいという意見が多くなればということもあると思うのですが。

事務局：他にもそのような所があると思いますのですが、検討方法をどうしますか。

委員：基本的な事ですが、施策はどのように公表していく考えですか。部の目標と同レベルなのですか。そうすると作り方も変わってくるのではと思います。

事務局：政策の指標は、冊子に載ってきます。総合計画を管理していく中で数値目標が必要になり、実行計画には数値を載せる予定にしています。冊子には、政策指標の数値、施策の数値は実行計画で管理していく予定です。

委員：公表していくという考えでいいですか。

事務局：実行計画は、毎年ローリングしていく計画ですが、それも踏まえてどのような出し方をするか検討しています。そちらで管理はしていきます。

委員：1ページの政策指標の2つ目に、幼稚園が楽しいと感じている幼稚園児の割合とありますが、どこの幼稚園ですか。保育園も入れていいのでは。

副委員長：楽しいかという質問は、保護者に聞いています。時間延長があるのは幼稚園だけです。

事務局：アンケートについては、幼児教育課でアンケートをとっているものがあり、その中から取り上げています。主観的指標として挙げられているもので、どこまでが対象かは確認します。

委員：2ページで、政策目標②で、目標値で未熟児6件、不妊治療60件とありますが、不妊治療はわかりますが、未熟児の目標を出すというのはどうかと思うのですが。

事務局：担当課に聞いていませんが、違う表現か数値がないか担当課と調整します。

委員：3ページの政策目標①で、学校施設の耐震化率の77%と81%という数値は、間違いですか。

事務局：前回、担当課からあがってきた数値が81%なのですが、そのあと耐震性がやや劣るものということで、数値が変更になったとの連絡があったので、77%に修正をお願いします。

委員：9ページで、政策目標で、自立支援給付等決定対象者数を目標として増やしていくのはいい事なのですか。

委員：担当課はこれらを公表するというで意思統一出来ていますか。この数値は外に出ないという雰囲気を持っているのではないですか。

事務局 : それ自体が指標ですので、公表するかしないは別にして、数値を挙げるということは、公表するかしないで目標が変わるとは想定していませんでした。伝えきれていないかもしれません。

事務局 : 現状の棚卸しで数値の目標は公開されているので、あらためて周知はしていませんが、PDCAサイクルで公表されるとの認識があると思っています。

委員 : 担当も公表されるなら、表現の仕方も変わってくると思うので、その内容を伝えて欲しいと思います。

委員 : 9ページはおかしいと言っているのではなく、潜在的に対応すべき人がいて、まだ対応する必要があるのかどうか、ということです。

副委員長 : 成果としてがんばって減らすのか、対応すべきものを対応して増やすのか、取りようによっては真逆になってしまいます。

委員 : 20ページも被害を減らすとありますが、被害を減らす事業がないと内容と目標が合致しないと思います。

事務局 : 建設経済部長から、この数値はどうか説明をお願いします。

委員 : 基本構想には、軽減するとの施策があり、減らすのは間違いない事です。ここに関する事業を入れるかどうかの組み立てが、そのような意識が無かったかと思います。総合計画をつくる時に、課題があつて、取組の方向があつて、それに対する施策がある、との流れは守れと言ったのですが、指標を見た時に、そこと総合計画とが繋がっていないのが原因だと思いますので、できれば、指標をみながら、指示をしてもらえればと思います。

事務局 : 指標の右にあるのは、黒い丸が重点で、その下にいろいろな事業があると思います。今回、その下の事業に関する照会調査もするので、そこで出てくるのではないかと思います。

委員 : そうであるならば、政策指標があるが、事業は載っていないものがあるのもいいのですか。

事務局 : 総合計画は、基本構想部分をつくり、その後実行計画をつくっていくという流れになっています。指標を考える上では、積み上げていく事になるので、これから、実行計画と基本構想のすりあわせになります。3月の審議会では、OKもらえれば、その後現状

値調査に入りますが、OKをいただけない場合は3月29日の審議会でそこから現状値調査という形になるので、そこで、担当課の積み上げと、総合計画基本構想の指標と合致しないものは調整する予定です。

委員：一般的に考えれば、間口を広げて相談に対応するというのいいと思いますが、減らすのであれば事業を縮小すれば達成できてしまう。

委員：関係する法改正の中で、苦情があるような販売元に市の職員が直接行って指導するなどになってきています。一般の方は相談する窓口を減らすと思われるかもしれないので、表現を考えたいと思います。

事務局：大前提として、疑問な指標について、全体をみて、おかしいと思われる所について、事務局としては部長にも見てもらい、委員会に出したいが、うちが課として疑問かどうか分からない部分もあるので、今後の作業をどうしていくか考えています。

委員：課に確認すると、もったもたとして、間違いではないと思います。しかし冊子紹介をすると一般の感覚と違ってしまう。

事務局：そうすると、部長に見ていただいた上で、課と相談した方がいいかと思いますが。全体の作業をどうしていくか。部長にみてもらってから相談してほしいとの気持ちもあるのですが、どうしますか。

副委員長：事務局から部長に見直ししてもらえるとうれしいということですが。

委員：課はこの出し方がわかっていないと思いますので、事務局から紙で指示を出して、課が再度見直すという方法でないと混乱すると思います。

事務局：指示を出すというの、公表しますということだけですか。

委員：考え方も指示してほしい。

事務局：視点も市民目線かどうかは、指標によっても違うが、総合計画は当然、市民目線が第一だと思っていますが、担当課と相談して完全に市民目線でいけるかどうかは疑問です。

事務局：今日の結果をもとに23日に会長の所に持って行きますので、スケジュールが厳しいです。

委員：数ページまとめてこの場で修正ではどうですか。

事務局：それが出来るのであればお願いします。

副委員長：ではそれで進めて下さい。

(資料の修正)

事務局：2ページはどうですか。

委員：待機児童数ですが、現状27年度が0で、37年の目標値も0となると、その間はどうなのかとなるので、毎年0との表現にした方がいいのでは。現状維持とか待機児童を出さないの方がいいと思います。

委員：乳幼児検診の受診率が37年度は目標値が下がっているととれる表現になっていると思うのですが。

委員：97%という数字が目いっぱい、下がる傾向なので、維持したいという意味でそういう表現になっています。

副委員長：3ページはどうですか。

委員：2ページの子どもの成長について、各園1～2回となっているが、目標が1回以上となっています。

事務局：③の内容でいいか、健康づくり課に確認します。

副委員長：4ページはどうですか。

委員：政策②で不登校児童の数字は何を表していますか。割合ならば%と表現して欲しいのですが。

事務局：確認します。

副委員長：5ページ、6ページはどうですか。

委員：6ページ、②の所で、がん検診は、市民課と健康づくり課で検討した結果、特定検診の受診者率の向上の数値ということで受診者率に変えて欲しいと思います。現状値が30.48%、目標値が60%です。

委員 : 10 ページの④市民団体等への情報提供の機会が、年 3 回から年 2 回に減っていますが。

副委員長 : 担当課と確認して下さい。

事務局 : 2 課から来たものを全て掲載していますが、上の赤い文字の方が正しく、下はやめるものです。赤い文字が掲載する予定のものです。

委員 : 病院としては、担当課を抜かすかどうかをもう一度相談してください。

委員 : 12 ページで、文化会館自主公演事業の入場率の算出方法は、どうなっているのですか。

副委員長 : 内部で持っている目標値があって、その 75% です。

事務局 : 目標値をチケットの販売枚数とか、数値に直せるものはないのですか。目標値が達成率ではおかしいのでは。

副委員長 : 担当課に確認して下さい。

委員 : 14 ページの①ですが、目標の数値は累計です。7 ページの①も累計ではないですか。累計と表記した方がいいのでは。確認をお願いします。

委員 : 16 ページの採択率ですが、事業なので減ってくるのですが、市民からみるとおかしいと思わないでしょうか。

委員 : 農林課と相談して下さい。

事務局 : 25 ページのCO₂排出量が今年度の数値は未定となっておりますが、今年度末に数字が出るということでしょうか。確認して下さい。

事務局 : 27 ページですが、①、②は確定していません。こちらで判断できないので、検討していただきたいと思います。

委員 : ぜひお願いします。

事務局 : 現状、課からは無いとの回答がありました。

副委員長 : ないなら割愛してはどうですか。

委員 : 担当課と相談します。

委員：市道とかの整備率はないのですか。

委員：28ページの⑤橋梁点検ですが、算出方法の分母と分子が逆なのは。

事務局：逆です。訂正をお願いします。

委員：算出方法の表現を統一して欲しい（÷or /）。

委員：●と○がわかりにくいと思います。

委員：5ページで、放課後子ども教室の実施校の数値ですが、9校というのは全校なので、全校と書いた方がいいと思います。

委員：重点事業と基本事業の区分は、実行計画の中で、取り扱いは変わってくるのでしょうか。

事務局：実行計画では、重点事業は4年間。それもローリングしていくが、基本計画は今まで通りの3年間。

委員：基本的には担当課の考えを重視していくということでいいですか。

事務局：いくつか担当課に確認しますが、部長にもご協力をお願いします。市民目線かどうかは、難しい部分もあるので、担当課と話をしながら決めていきたいと思います。審議会は市民目線となりますが、担当課の思いは審議会には伝えていきます。

副委員長：では進行を返します。

4 その他（連絡事項等）

- ・審議会日程報告

5 閉会

以上